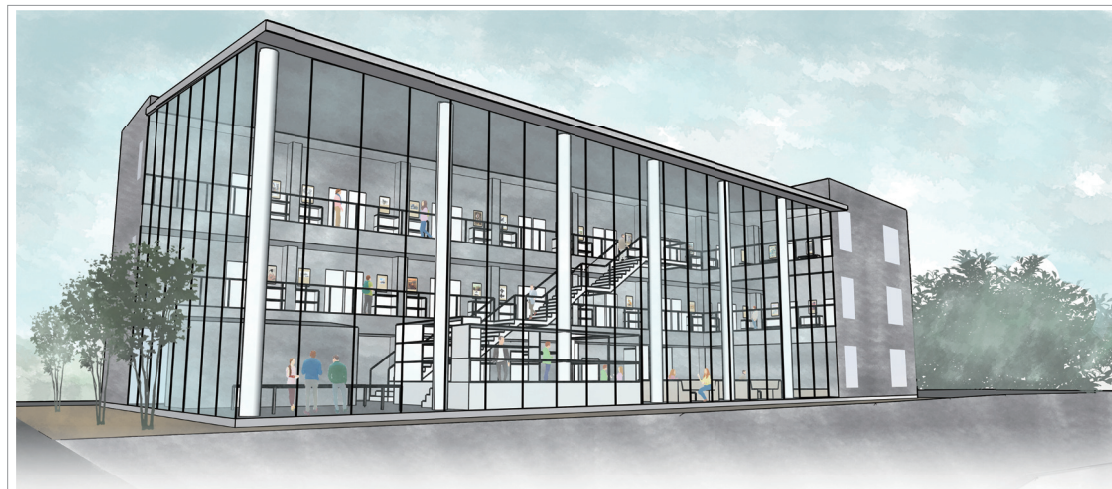
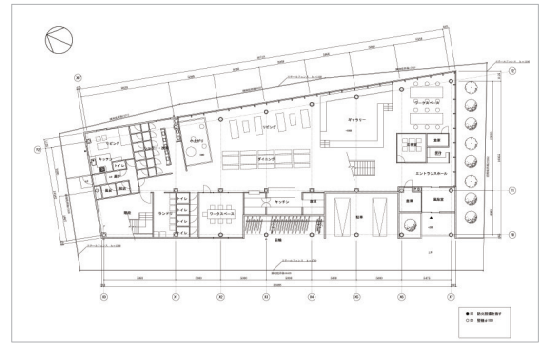


Works03

課題テーマ
学生寮（2年次卒業設計）

【コンセプト】

共に住まう学生の活動や関係性を可視化し、互いに触発され切磋琢磨していく。そんな学生寮を造ることはできないだろうか。1Fの川側に面した部分を広々とした共用スペースとし、皆が集まりたくなる空間を造る。そこでの活動の様子は吹抜を介し2、3Fから見る事ができるようになっている。また周りの環境に対してオープンな学生寮であるために、1Fに設けたギャラリーは地域の人たちに活動の内容や取り組みを紹介する役割を担っている。（山田諒）

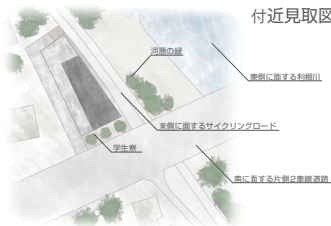


広場のような学生寮

建物用途: フェリカ建築デザイン専門学校が学生が住む学生寮
敷地特徴: 校舎より徒歩5分。敷地の最大の特徴は、東側にサイクリングロードと利根川を面している事である。建設予定敷地は利根川の河原より10m程度高くなっており、遠くまで眺望を望む事ができる。サイクリングロードは河原と敷地の間に通っており、敷地より5m程度低い低い河原に通っており、眺望を望む事ができる。
敷地面積: 915.79㎡

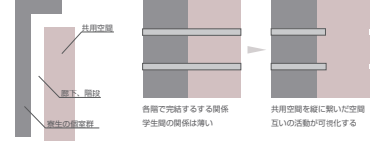
要望

- ・入居人数30名を想定
- ・生徒が制作した作品を展示するギャラリーを設ける
- ・課題制作や学習を行うワークスペースを設ける
- ・学生間に集まりたい場所を想定
- ・人数が変動し、寮長と教務主任がスペースを設ける



付近見取図

今回、「学生寮」を設計するに当たり、既存の学生寮を調べて感じたことがある。それは、寮生の共有スペースや個室スペースがそれぞれあまりにも隔離されているのである。確かに、プライバシーの確保の面では正しいがこれでは1つのアクトに各自他人という関係が保たれない。そこで、共に住まう学生の活動や関係性、関係性を可視化し、互いに触発され、切磋琢磨を強め、制作活動で切磋琢磨していく。そんな関係性を定まることがないか、と考えソーシングに当たった。



川側に面した部分に共用スペースを配し、集まりたくなる空間を造る。その空間に合うように川には反対側に個室群を配した。個室位置の違いによる空間の繋がりのムラを解消するため、間に通廊を挿入。階による空間の隔たりを無くし開放空間とする事で、学生たちの活動の可視化を狙った。

空間を繋ぐ

建設予定の敷地は、南側へ大通り、東側にサイクリングロードを挟んで利根川を望むことができる。利根川は川幅が広いので、遠くまで眺望を望むことができる。学校からは徒歩5分程度で、前面道路は交通量も多く人通りもある敷地である。

建築学生の学生寮を設計するに当たり、どのような学生寮なら学生や学校、そして地域にとって良い学生寮になるかを考えた。その結果、学生間の交流や活動がより活発になり、周りの環境に対してオープンな学生寮が望ましいという考えに至った。そのため、どのようにすれば学生間の交流や活動が活発になるかに重点を置いて設計に取り組んだ。

パブリックスペースは基本的に1Fの1つの空間にまとまっており、そこでの活動の様子を2、3Fの廊下や階段から見ることができるようになっているこれは学校での課題はもちろん、個人的な活動や趣味を知るきっかけになる。そして新しい知識や情報を得たり、新しい交友関係を築くきっかけになると考えた。そのパブリックスペースの中に生徒の作品を展示するギャラリーを組み込んだ。先輩や友人の作品を通して学び、制作物のクオリティの向上を狙うと共に、学生間のコミュニケーションの増加を狙った。ギャラリーを仕切り枠に生活の一部を組み込むことで、この効果は大きくなると思った。ちなみにこのギャラリーは床の高さが800mm高くなっ

ており、外部から寮を見たときに目に入りやすいようになっている。そのことによりこのギャラリーは地域の人たちにギャラリーの存在を広く認知してもらうことと、活動の内容や取り組みを知ってもらう紹介の役割を担っている。

階段を上り2、3Fに上ると寮生の個室が並ぶ廊下が吹抜け空間に投げ出されており、パブリック空間とプライベート空間を繋ぐ緩衝地帯となっている。廊下に並ぶ個室のドアの隙には小さな欄干、紙などを置くことができるボードがあり、学生の個性や活動の内容が垣間見えるようになっている。これをきっかけにそれぞれの活動やコミュニケーションの活性化を狙っていると共に、単調になりがちな廊下に彩りを与えている。

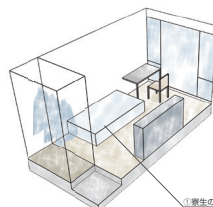
異なる役割の空間をつなげたことにより、それぞれの学生の活動を知る機会を作ることができた。目的や気分に合わせて居場所を選択することができるこの寮で学生たちがよりよい学生生活を送れることを願っている。



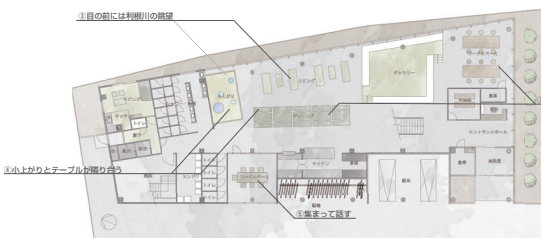
前面道路から見たワークスペース
作業の様子と作品を同時に見ることが出来る

3階から見た1階の様子
各々の活動の中にギャラリーが馴染んでいる

廊下の様子
それぞれの欄干とボードが個室前のスペースに彩りを与えている



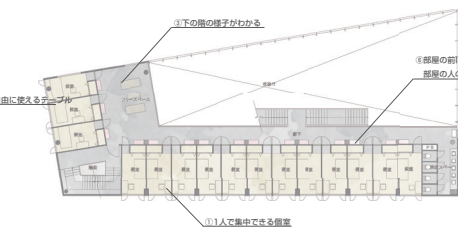
①寮生の個室



②小上がりとテーブルが視界を切り出す

③廊下を自由に使えるデニッシュ

④集まって話す



③下の階の様子が見える

④部屋の前に欄干とボードがあり部屋の人の色が出る

⑤1人で集中できる個室